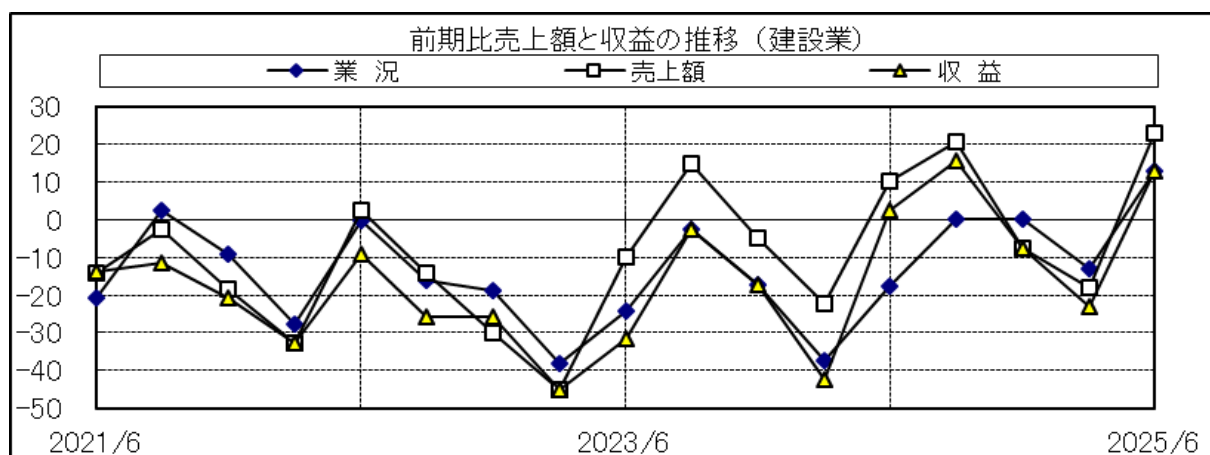


建設業 39 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	0.0	-12.9	12.8	17.9
売上額	-7.7	-17.9	23.1	30.8
収 益	-7.7	-23.1	12.8	15.4

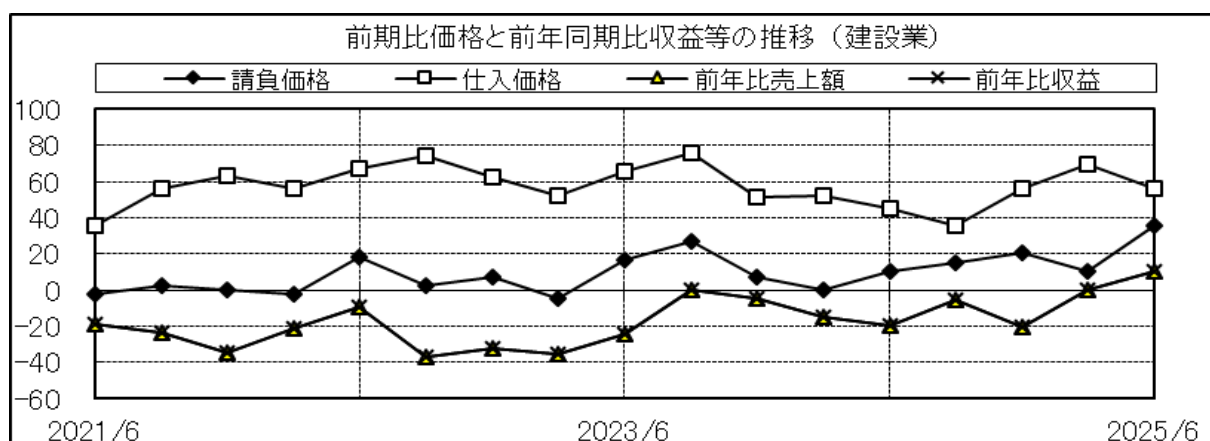
今期の業況判断 D. I. は 12.8 で、前期比 25.7 ポイント上昇した。前年(△17.5)比で 30.3 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、静内が最も高く、次にえりも、様似、三石、浦河と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、23.1 で、前期比 41.0 ポイント上昇。収益判断 D. I. は 12.8 で、前期比 35.9 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	20.5	10.2	35.9	20.5
仕入価格	56.5	69.3	56.4	33.3

請負価格判断 D. I. は 35.9 で、前期比 25.7 ポイント上昇した。前年(10.0)比で 25.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 56.4 で、前期比 12.9 ポイント下降。前年(45.0)比で 11.4 ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	2.6	-10.2	-2.6	-5.1
人手状況	-46.2	-46.2	-33.3	-43.6

残業時間判断 D. I. は△2.6 で、前期比 7.6 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△33.3 で、前期比 12.9 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

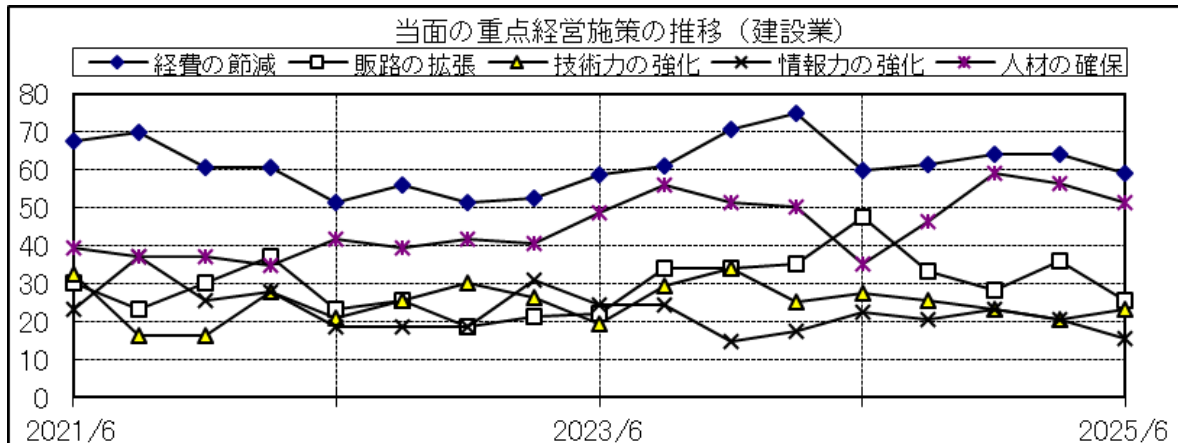
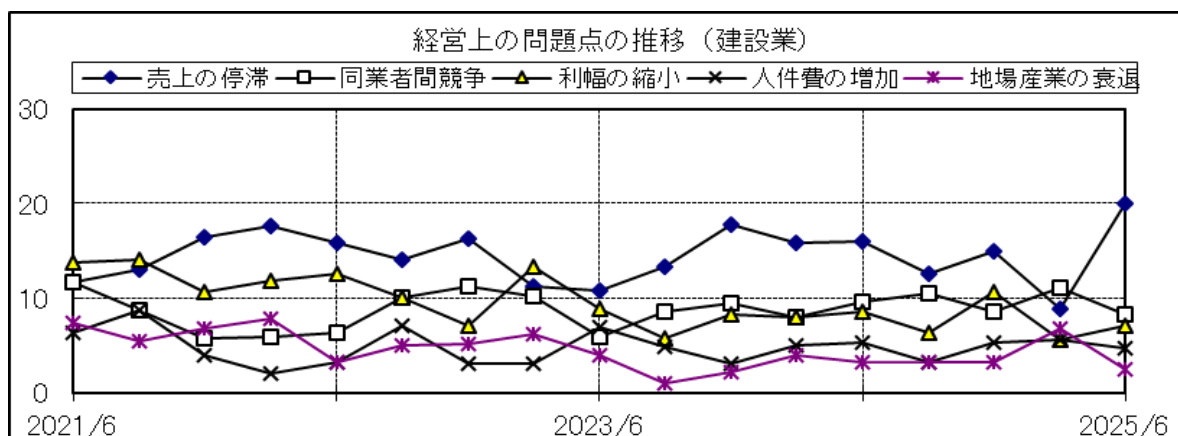
設備投資の充足感を示すD. I. は△5.1で、前期(△7.7)比2.6ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は15.4で、前期(12.8)比2.6ポイント上昇した。設備投資は、前期5社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が24.7%と最も多く、次に「人手不足」21.2%、「売上停滞減少」20.0%、「同業者競争」8.2%、「利幅縮小」7.1%、「人件費増加」4.7%、「諸経費増加」3.5%、「大手企業競争」・「天候不順」・「地場産業衰退」が2.4%、「合理化不足」・「下請確保難」・「技術力不足」が1.2%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が59.0%と最も多く、次に「人材確保」51.3%、「販路拡大」25.6%、「技術力強化」23.1%、「情報力強化」15.4%、「労働条件改善」7.7%、「教育訓練強化」5.1%、「新工法導入」2.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は17.9と、今期比5.1ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は30.8と、今期比7.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は15.4と、今期比2.6ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は20.5と、今期比15.4ポイントの下降を見通している。

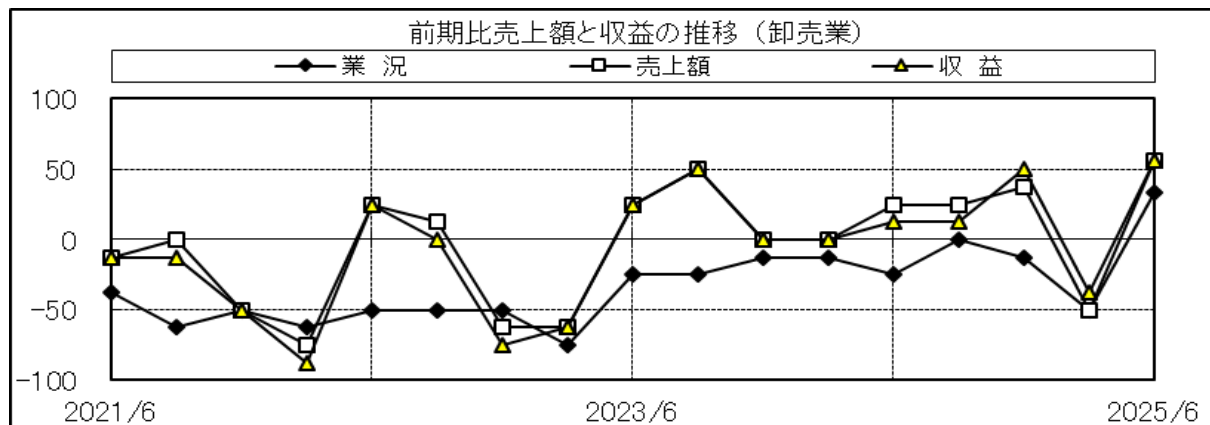
予想仕入価格判断D. I. は33.3と、今期比23.1ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 9 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-12.5	-50.0	33.3	55.5
売上額	37.5	-50.0	55.6	55.6
収 益	50.0	-37.5	55.6	44.5

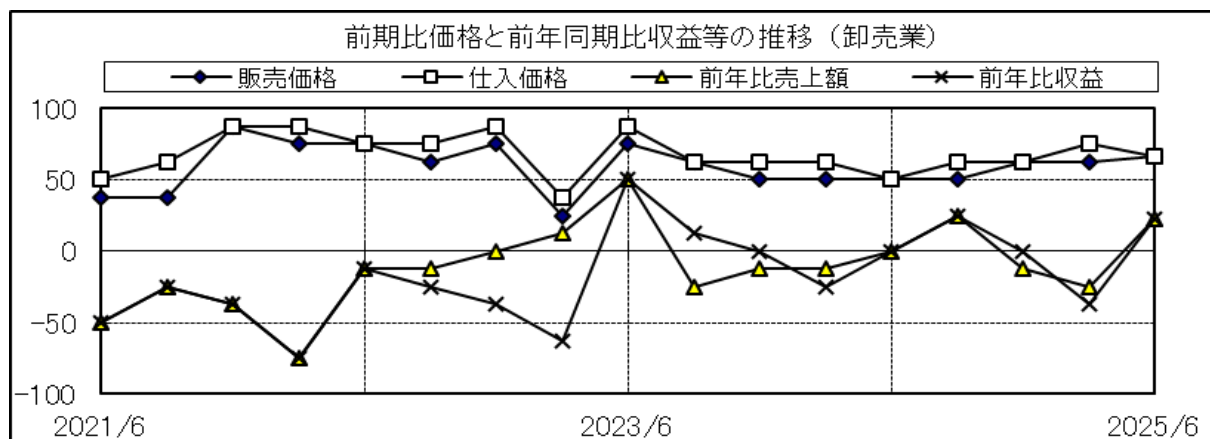
今期の業況判断 D. I. は 33.3 で、前期比 83.3 ポイント上昇。前年(△25.0)比 58.3 ポイントの上昇となった。地区別 D. I. の水準は、浦河・静内地区は上昇、様似地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は 55.6 で、前期比 105.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 55.6 で、前期比 93.1 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
販売価格	62.5	62.5	66.7	44.4
仕入価格	62.5	75.0	66.7	44.4

販売価格判断 D. I. は 66.7 で、前期比 4.2 ポイント上昇。前年(50.0)比 16.7 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 66.7 で、前期比 8.3 ポイント下降。前年(50.0)比 16.7 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売価格は上昇、仕入価格は横這い。食品業、その他は販売、仕入価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	22.2	0.0
人手状況	0.0	-12.5	-11.1	-11.1

残業時間判断 D. I. は 22.2 で、前期比 22.2 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△11.1 で、前期比 1.4 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

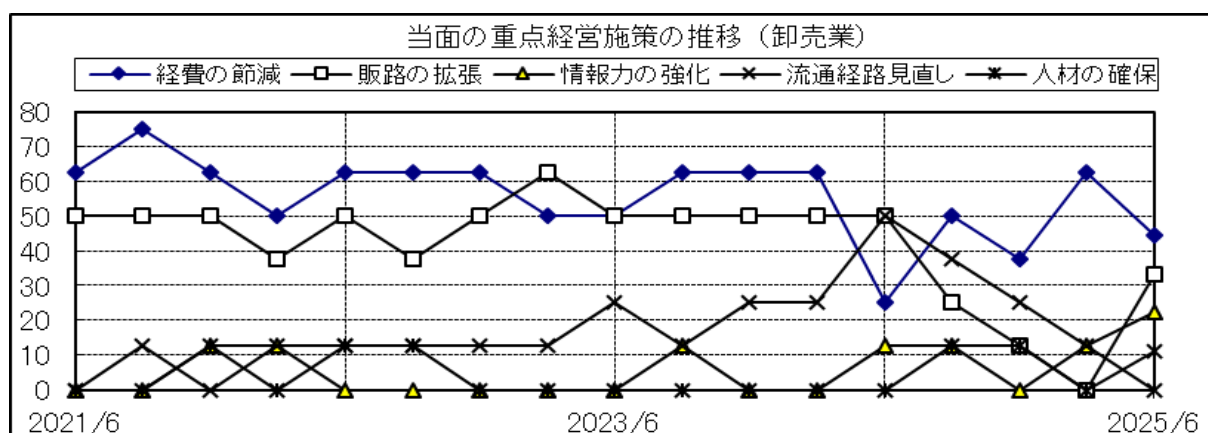
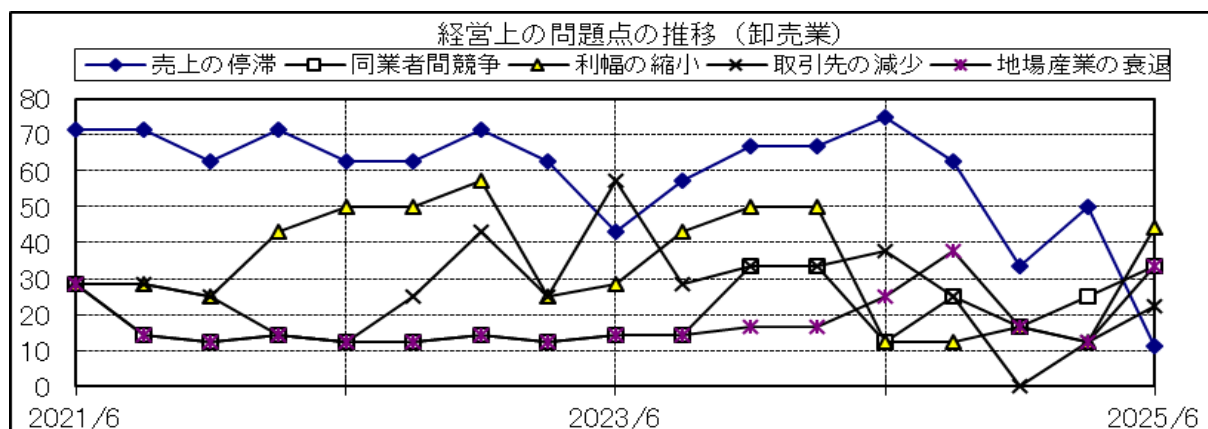
設備投資の充足感を示すD. I. は△22.2で、前期(0.0)比22.2ポイント下降した。

設備実施企業割合は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。設備投資は、前期0社に対し、実施した企業はなかった。来期の設備投資を予定する企業は2社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅縮小」が44.4%と最も多く、次に「同業者競争」・「地場産業衰退」が33.3%、「値上要請」・「取引先減少」が22.2%、「売上停滞減少」・「人手不足」・「人件費増加」・「店舗老朽化」・「地価高騰」・「為替レート変動」が11.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が44.4%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「品揃えの充実」・「情報力強化」が22.2%、「人材確保」・「不動産有効活用」が11.1%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は55.5と、今期比22.2ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は55.6と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D. I. は44.5と、今期比11.1ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は44.4と、今期比22.3ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は44.4と、今期比22.3ポイントの下降を見通している。